

参考図5 練馬区内における満足度の地域別の分布

平成 27 年度区民意識意向調査において、「みどり施策に対し満足」と回答した人の割合は、区の南東部、あるいは南部全体が相対的に低くなっている。

一方、同調査において「身近なみどりに対して満足」と回答した人の割合は、南部のほか、西部、北東部、中央部などでも相対的に低くなっている地域がみられている。

施策に満足していても、みどりの現状には満足していないという傾向がみられる。

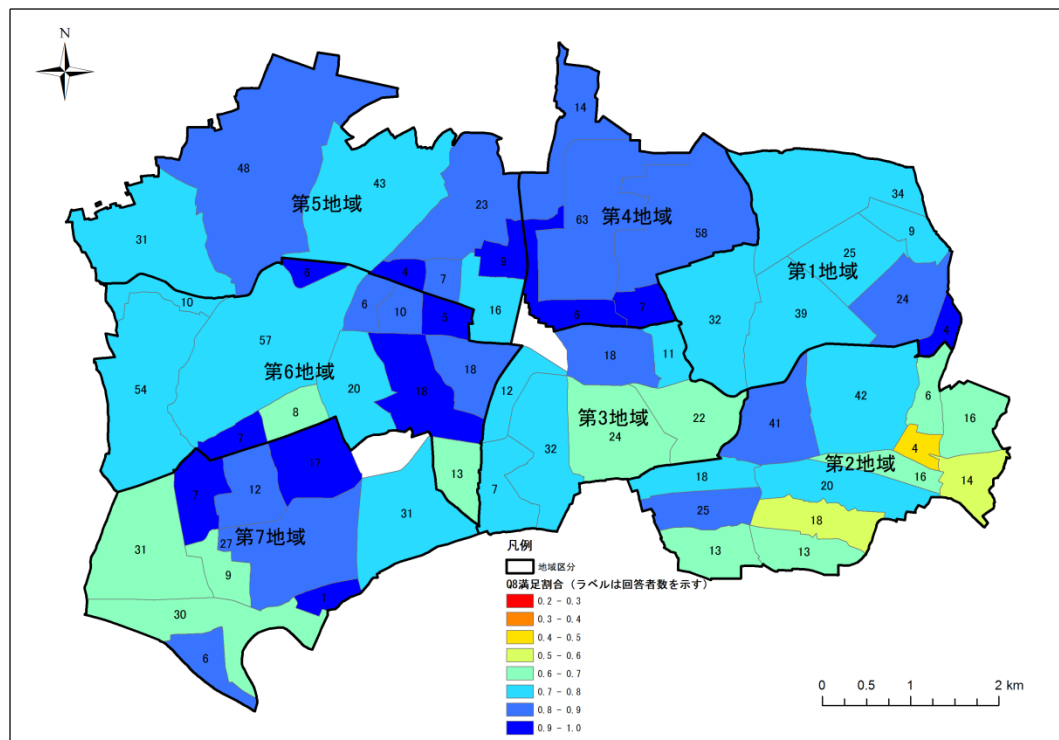


図 5-1 みどり施策に対し満足と回答した人の割合（平成 27 年度意識意向調査）

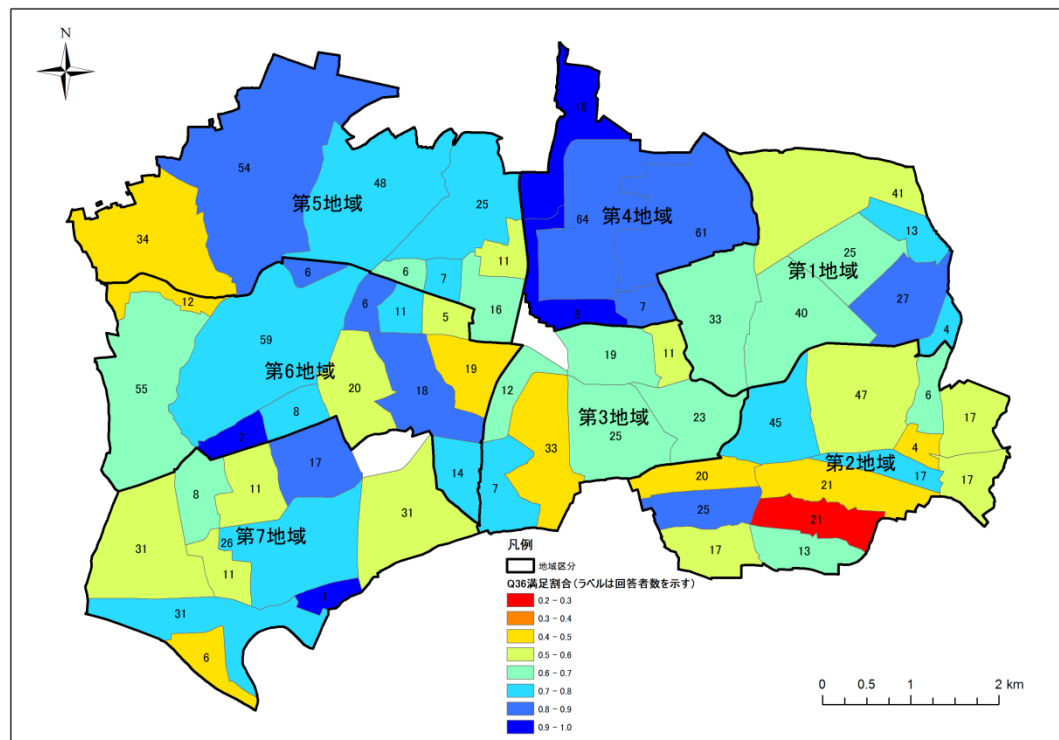


図 5-2 身近なみどりに対し満足と回答した人の割合（平成 27 年度意識意向調査）

参考図6 みどりの現況の変化と区民満足度の関係

a. 樹林地の減少率の高い地域と低い地域の比較

平成 18 年度から平成 23 年度における樹林地の減少率と区民の満足度の関係を調べたところ、樹林地の減少率の高い地域の方が、減少率の低い地域に比べて、満足度が下がる傾向がみられた。また、元々の樹林地率が低いほど満足度も低下している。

表 6-1 樹林地率の変化と区民満足度の関係の例

| H18(元々)の状況 | H18→H23の減少率 | 地域 | みどり施策満足度 | 身近なみどり満足度 |
|------------|-------------|----------|----------|-----------|
| 樹林地率が高い | 高い | 上石神井 | 85.2% | 73.1% |
| | 低い | 氷川台 | 87.5% | 92.0% |
| 樹林地率が低い | 高い | 平和台 | 72.0% | 66.7% |
| | 低い | 西大泉二～六丁目 | 74.2% | 54.8% |

b. 大規模公園を整備した区域と未整備区域の比較

過去 10 年間に大規模公園を整備した区域と未整備区域における区民の満足度を比較したところ、整備区域の方が、整備前の緑被率が同等の未整備区域に比べて、満足度が高くなる傾向がみられた。

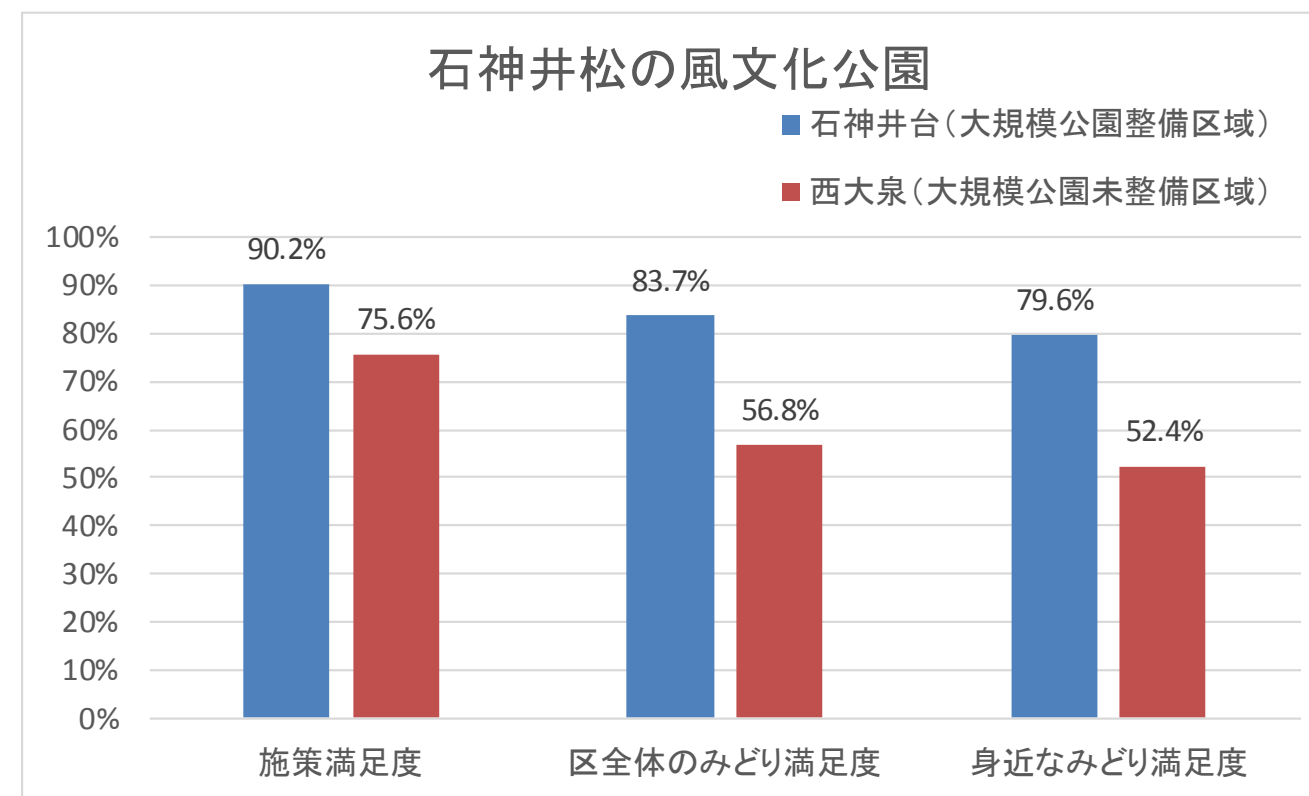


図 6-1 大規模公園の整備区域と未整備区域における区民満足度の違い

参考図7 地域によって違いの見えるみどりの質（評価項目）※地域区分は、都市計画マスタープランの7地域区分としている。

I みどりの骨格形成

エコロジカル・ネットワーク上、拠点（コア）となるみどり

◆担保されている緑地は、第4～7地域で50ha以上となっている。

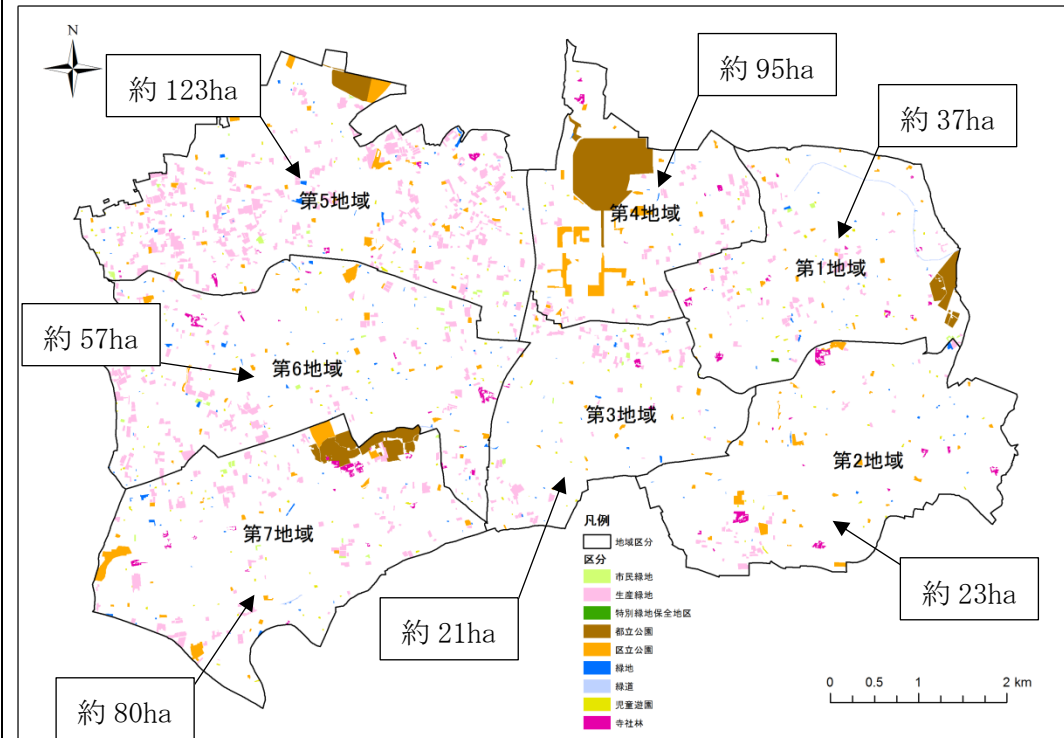


図7-1 担保されている緑地の分布状況と面積

II 環境を保全する機能

守られている農地

◆生産緑地は第5地域や第6地域に偏っている。

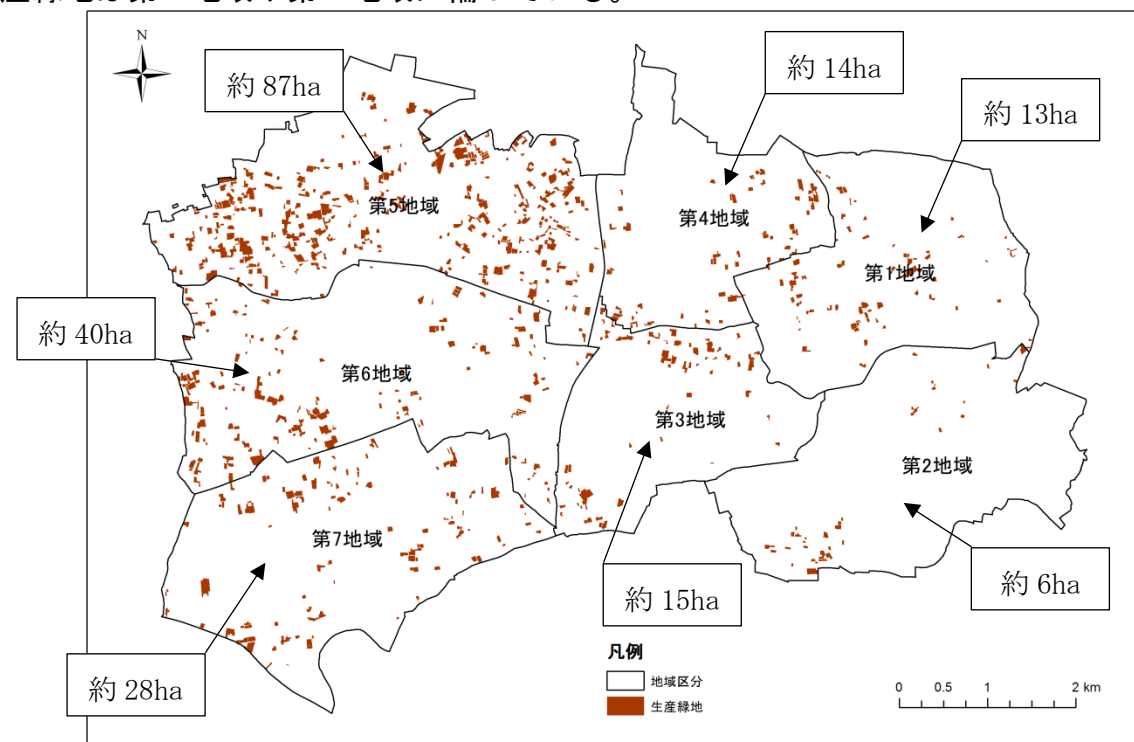


図7-2 生産緑地の分布状況と面積

III レクリエーション機能

日常的に利用できる公園／農業体験ができる場

◆整備目標「区民一人あたりの公園面積6.0㎡以上」は第4地域のみで達成されている。

◆農業体験ができる場（市民農園、区民農園、体験農園等）は、第5、第6、第7地域に偏っている。

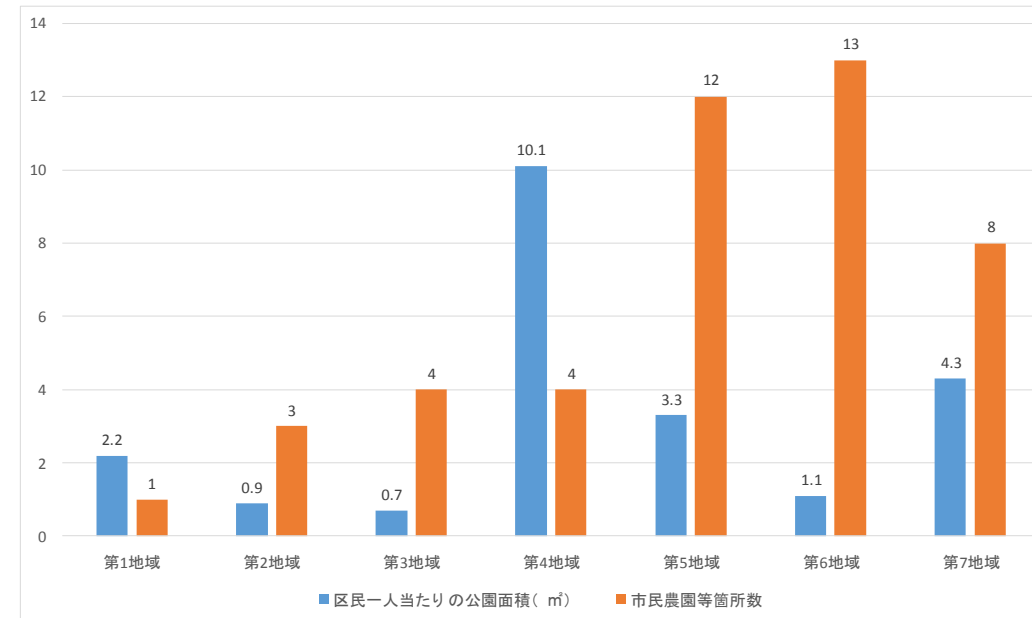
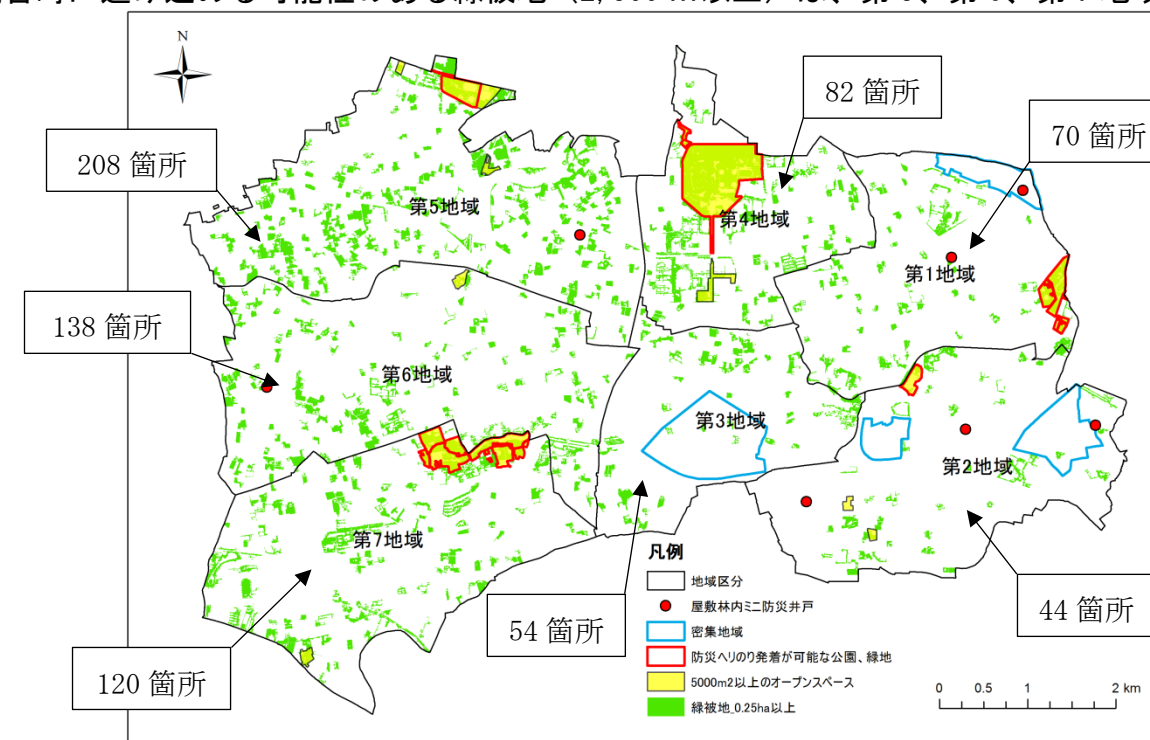


図7-3 一人あたりの公園面積 (㎡/人) と市民農園等箇所数

IV 防災機能

災害時に逃げ込めるみどり

◆災害時に逃げ込める可能性のある緑被地（2,500㎡以上）は、第5、第6、第7地域に偏っている。



※箇所数は、2,500㎡以上の緑被地の数

図7-4 防災機能に関する緑被地等の分布状況